

(第5号様式)

平成27年 3月13日

新たな文化活動チャレンジ事業補助金企画提案書

奈良県知事様

団体所在地 〒0000-0000
奈良県奈良市00町00-0
団体名 00オペラフェスティバル実行委員会
代表者名 委員長 00 00 印

平成27年度「新たな文化活動チャレンジ補助金」にかかる企画提案書を、下記のとおり関係書類を添えて提出します。

事業名	000オペラフェスティバル	
添付書類	1. 事業計画書(第1-2号様式) 2. 収支予算書(第1-3号様式) 3. 団体調書(第1-4号様式) 4. 事業の実施体制(第1-5号様式) 5. 団体目的等についての誓約書(第1-6号様式) 6. 重点枠申請の理由書(第1-7号様式) ※重点枠申請の場合のみ 7. 団体の規約、定款等の写し、役員名簿 8. その他参考資料(団体紹介パンフレット、過去の催しの案内、など)	
連絡担当者	氏名	△△ △△
	住所	〒0000-0000 大和郡山市00町00
	電話番号	0743-00-0000
	FAX	0743-00-0000
	E-mail	×××@nara00.jp

※ 本申請書及び添付書類は、連絡担当者に関する事項以外は全て原則として公開資料とします。
また、提出いただいた資料の返却はいたしませんので、必ず写しをとっておいてください。

(第1-2号様式)

事業計画書

事業名	〇〇〇オペラフェスティバル		
	重点枠申請の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
概要	下記の点について、それぞれ簡潔・明瞭に記載してください		
趣旨・目的	……という状況を踏まえ、県内の……よる、オペラフェスティバルを開催することにより、……文化の振興と、……を活性化することを目的とする。		
要件該当性	<small>(「次世代育成」、「県民参加」、「文化力強化」、「交流」、「被災地復興」のいずれかの要素をどのように盛り込んだか)</small> ……について、参加する子どもたちを広く公募し、オーディションで選んだキャストに対して、……に基づくカリキュラムを実施。講師〇〇を招いた集中ワークショップでスキルをアップし、次世代の育成を進める。事業の成果発表として、〇月に……を開催し、集大成とする。		
公益性	……だけでなく、……にとっても利益となり、……に事業効果が還元される点において公益性が高い。		
新規性・創造性	……の点において、……が独創的で新しい取組であり、特に……について……といった工夫を盛り込むことで、先進的なモデルケースとなる。		
継続性・発展性	来年度からは、当該事業の……の実績を踏まえ、更に……の観点で……へと取組を発展させる。		
効果	事業実施により、……が推進され、……する効果が見込める。また、単なる発表ではなく、フェスティバルと〇〇を組み合わせることで、〇〇にもつながる。		
事業内容	日時	実施内容	実施場所
	〇月〇日	〇〇実行委員会開催 参加予定〇〇、〇〇、〇〇 ……に関しての打合せ	〇〇市〇〇センター
	〇月〇日 ～〇月〇日	〇〇オペラキャスト募集 ……への参加者を……を対象に公募	インターネットで全国公募
	〇月〇日 ～〇月〇日	〇〇を招いた〇〇ワークショップ テーマ:〇〇 手 法:〇〇〇	〇〇町〇〇ホール
	〇月〇日	〇〇オペラフェスティバル開催 (メイン) プログラム:〇〇〇 ゲスト:〇〇 主要キャスト:〇〇〇 (サテライト) プログラム:〇〇〇	(メイン) 〇〇市〇〇センター (サテライト) 〇〇市〇〇会館
事業期間	平成27年〇月〇日～平成27年〇月〇日		
特記事項 アピールポイント	今回この事業に応募したのは、…… 特に、……については……を行い、従来型の取組とは一線を画すものである。 また、〇〇を身近に感じ、積極的な参加を促すため……を取り入れて実施した。		
参加者数見込	出演〇〇人 観客〇〇人		
総事業費	2,397千円		
入場料等	510千円		
交付要望額	1,000千円		
後援・協力等	〇〇市後援、〇〇新聞後援、日本〇〇連盟協力		

コメント [適用1]: 記載にあたっては、募集要項に示す審査基準も参考にしてください

コメント [適用2]: どういった内容が要件に合致するのかが明確に記載してください。

コメント [適用3]: 具体的な事業の内容、スケジュール、進め方について、記載してください。

様式大1-3号と矛盾の無いように記載してください。

※行は適宜追加してください

(第1-3号様式)

収支予算書

収入の部			支出の部		
内訳		予算額	内訳		予算額
入	ワークショップ参加料 1,000円×10名	10,000	補	出演・出展関係費	
				ワークショップ講師 30,000円×5日	150,000
場	〇〇オペラフェスティバル入場料		助	ゲスト出演料 150,000円×1団体	150,000
	一般 2,000円×200人	400,000		ピアニスト出演料 100,000円×1名	100,000
料	学生 1,000円×100人	100,000	対	旅費	
				ゲスト交通費 2,500円×10名	25,000
等			象	印刷・広報関係費	
				チラシ印刷(参加募集、成果発表各5,000) 10円×10,000枚	100,000
収			経	ポスター印刷 100円×500部	50,000
				パンフレット印刷 200円×2000部	400,000
入			費	チラシ、ポスター郵送代 160円×200箇所	32,000
				設営・舞台費	
			費	ワークショップ設営委託費 120,000円×5日	600,000
				サテライト会場設定費 150,000円×2箇所	300,000
			費	本番舞台人件費 20,000円×5人	100,000
				会場整理謝金 5,000円×10人	50,000
			費	会場費	
				ワークショップ会場使用料(〇〇ホール) 10,000円×5日	50,000
			費	フェスティバル会場使用料(〇〇センター大ホール) 250,000円	250,000
				その他	
	小計	510,000		小計	2,357,000
	自己負担額	887,000	補	講師、スタッフ昼食代	
			助	800円×10名×5日	40,000
			対		
			象		
			経		
			費		
			費		
				小計	40,000
	収入総額	2,397,000		支出総額	2,397,000

収入・支出ともに積算内訳を必ず記載してください。

支出は予め見積を徴収するなどして、適正額で計上してください

※収入総額と支出総額は一致させてください

※重点枠の申請を行う場合の補助金申請額及び自己負担額の計算は、重点枠の計算式で行ってください。審査の結果、一般枠での内示となる場合があります。

(第1-4号様式)

団体調書

団体の名称	〇〇オペラフェスティバル実行委員会		
活動の開始年月	平成22年4月		
法人格	あり・申請中・ なし (該当するものに〇印をつけて下さい)		
認証・許可年月日	平成 年 月 日 所管庁:		
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 奈良県奈良市〇〇町〇〇-〇 TEL 0742-〇〇-〇〇〇〇 FAX 0742-〇〇-〇〇〇〇 E-mail 〇〇〇〇〇@〇〇〇.jp URL http://aaa.....		
代表者職・氏名	職名	実行委員長	ふりがな 〇〇〇〇 〇〇〇
			氏名 〇〇 〇〇
連絡責任者 連絡先住所 ■ 自宅 □ 所属先	氏名 △△ △△ TEL 0743-〇〇-〇〇〇〇 FAX 0743-〇〇-〇〇〇〇 E-mail ×××@nara〇〇.jp 〒〇〇〇-〇〇〇〇 大和郡山市〇〇町〇〇		
設立の目的 と 現在の活動内容	当実行委員会は、……をすることを目的に、……を契機として平成22年4月1日に設立した。現在は……を拠点に……の活動を行っている。 個人会員数 10人/団体会員 一団体/専従職員 一人		
団体の財政状況	■昨年度の決算 3,500千円 ■今年度の予算 5,000千円 (それぞれの支出ベースで記載してください)		
活動実績 (箇条書き)	【平成26年度の主な活動】 平成26年 8月 〇〇コンサート (〇〇市民会館大ホール) 10月 〇〇オペラ「〇〇」(〇〇寺講堂) 平成27年 1月 〇〇県音楽祭に参加(〇〇県〇〇ホール)		
備考			

コメント [適用4]: 法人格が無い場合でも規約等と役員名簿が必要です

コメント [適用5]: 特に最近の活動内容について記載してください

(第1-5号様式)

事業の実施体制

団体名 ○○オペラフェスティバル実行委員会

代表者名 ○○ ○○ 印

担当業務	氏名	団体での役職名	担当業務の詳細
統括・代表	○○ ○○	委員長	全体統括
企画担当	■■ ■	副委員長	ワークショップの企画責任者 オペラ発表の構成統括責任者
広報担当	●● ●●		ワークショップの広報責任者 メインイベントの広報責任者
運営スタッフ	△ △△		印刷物の制作
運営スタッフ	▲▲ ▲		運営統括責任者
総務担当	□□ □□	事務長	事務・会計全般
監査担当	◆ ◆	監事	会計に関する監督

※役員及び職員のうち、この事業に関連する者について記入してください。

(第1-6号様式)

平成27年 3月10日

団体目的等についての誓約書

団体名 ○○オペラフェスティバル

代表者名 ○○ ○○ 印

当団体は、下記の全ての事項に該当することを誓約します。

記

1. 奈良県内に事務所の所在地又は活動の拠点を有し、文化芸術等の振興をはかる団体であること。
2. 政治活動又は宗教活動を目的としないこと。
3. 暴力団又は暴力団若しくは暴力団員の統制の下にある団体でないこと。
4. 特定の公職者(候補者を含む。)又は政党を推薦し、指示し、又は反対することを目的とした団体でないこと。
5. 団体の全役員は、成年被後見人、被保佐人及び破産者で復権を得ない者のいずれにも該当しない者であること。
6. 「新たな文化活動チャレンジ補助金」審査会審査委員が、事業の企画提案に直接間接を問わず参加していないこと。

(第1-7号様式)

重点枠申請の理由書

この様式は、重点枠申請を行う場合のみ必要です。

重点枠を申請する理由を、以下のポイントに沿って、具体的かつ簡潔明瞭に記載してください。
フロー図等を用いて図示していただくことも可能です。

① 「奈良県大芸術祭」のコンセプトをどのように事業に反映させるか

(事業を通して奈良の多彩な魅力を県内外に広く発信／多くの人を惹きつけ、奈良への誘客に繋げる／
上質な文化芸術に触れる環境を提供、等の観点)

- ・ **奈良の〇〇に伝わる伝承である……を取り上げ、現代風アレンジして台本を練り上げる。**
- ・ **ホームページにゆかりの地にまつわる情報を定期的にアップして本番に向けて関心を高めるよう工夫するとともに、パンフレットにも……公演終了後、現地を巡っていただくための動機付けとする。
具体的には……**

② ①のために、事業の企画にあたって特に工夫、配慮した点

- ・ **専門的になりがちな内容をわかりやすく伝えるため、…大学…研究室とタイアップして実施。
また、全国に魅力を発信するために、……**
- ・ **ワークショップについては全面公開として、インターネットでも配信することで、……**

③ 事業の実施による地域等への波及効果

- ・ **新規参加者……名を目標に、できるだけ新しい参加者を掘り起こすため、……**
- ・ **……との連携により、……することで、地域住民との協働を実現する。**

④ その他、重点枠で申請するにあたって特にアピールする点

- ・ **関西圏から広く集客するための関連企画として、…**
- ・ **また、今後当企画を……へ発展させていくために……**

※行は適宜追加してください